

来年 北海道で全国共進会 肉牛出品候補 引き継ぎ

来年8月に北海道で開催される「第13回全国和牛能力共進会」の肉牛区に県から出品する候補牛の譲渡会が、高山市冬頭町の飛騨家畜流通センターで開かれた。

5年に1度開かれる同共進会は、全国から集まった和牛の改良の成果などを競う大会で「和牛のオリンピック」と呼ばれて

高山で譲渡会、14戸参加

いる。譲渡会は、J A全農岐阜や県などで行う第13回全国和牛能力共進会岐阜県出品対策委員会が主催。県内の繁殖農家が育てた234頭の中から発育状況、血液検査などで選抜された子牛37頭が出品された。

譲渡会には14戸の肥育農家が参加。希望する候補牛を指名し、指名が重複した場合は抽選で買い取り先を決めた。同委員会の辻直司会長(63)は「丹精込めて育ててきた繁殖農家から情熱も引き継ぎ、立派に育ててもらいたい」と話していた。(山田雄大)



譲渡会に出品された子牛＝高山市冬頭町、飛騨家畜流通センター